



2021/12/21

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団（日本 GIF）  
オンラインセミナー  
「中国の『水覇権』（Hydro-Hegemony）—周辺国への影響と紛争防止の枠組み—」  
開催のご案内

中国やインドを中心とした人口増や経済成長に伴って、アジア地域の水資源が注目を集めています。「世界一のダムビルダー」と呼ばれて久しい中国。限られた水資源を中国がどのように開発していくかに対し、周辺国が神経を尖らせています。中国が擁する国際河川のうち、中国は大半で上流の位置にあり、上流側の資源開発は下流国へ多大な影響を及ぼすからです。中国は果たして、周辺国の懸念を顧みない「水覇権」を行使しているといえるでしょうか。

日本 GIF は長年に渡って、国際河川の管理とインフラストラクチャーの問題について取り組んできました。今回のオンラインセミナーは、ジャーナリストとしてのご経験を持つ、大和大学の天野健作教授を講師としてお迎えいたします。

本講演では、メコン川、ガンジス川、インダス川、マハカリ川に加え、その開発がヴェールに包まれていたブラマプトラ川（中国名・ヤルツァンポ川）を扱います。ここでは、世界最大の水力発電所である三峡ダムの 3 倍となる発電量を見込む「墨脱ダム」の建設計画があります。

水資源をめぐる国際紛争が生じないための条件は何か。アジアの水資源紛争を読み解き、紛争防止のための枠組みを探ります。

日本 GIF のオンラインセミナーは、講師と参加者との質疑応答の時間を長めに取っております。アジアの水資源開発、国際河川管理、中国と周辺国との関係、水資源紛争等に関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。また、関係部署等に、情報を転送していただければ幸いです。

**開催日時：2022 年 1 月 20 日（木）14 時～15 時半**

**開催方式：Zoom を使用したウェビナー（オンラインセミナー）**

☆事前のご登録を下記よりお願いいたします。

参加費：無料、どなたでもご参加いただけます。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_f-D7Yd1XTSCiK10-lvO9Lg](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_f-D7Yd1XTSCiK10-lvO9Lg)

※Zoom の仕様上、お名前を日本語で入力されると、ご登録確認メール記載の姓名が逆転いたします。ご容赦いただきますよう、よろしくお願いたします。

## 天野 健作（あまの けんさく）氏プロフィール

大和大学社会学部教授（2021年～）。専門は地球環境学、国際水資源、ジャーナリズムなど。1974年愛知県豊田市生まれ。同志社大学法学部卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程修了（人間・環境学修士）。ニューヨーク大学国際関係学プログラム課程修了、東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了（国際協力学博士）。1999～2020年、産経新聞社記者。記者時代は環境省、原子力規制委員会、厚生労働省、東京都庁、警察・検察、北朝鮮拉致問題などを担当し、戦地や災害を含め国内外の現場を回った。



### <主な著書・論文>（いずれも単著）

（予定）『水覇権 アジアの資源紛争を読み解く』（2022年、ミネルヴァ書房）

『原子力規制委員会の孤独』（2015年、エネルギーフォーラム）

「気候変動による水資源への影響に関する中国とインド一国連気候変動枠組み条約における報告書の意義付け」『水文・水資源学会誌』34(6)、367-376頁、2021年

「インドの国際河川における紛争防止メカニズムの比較考察」『国際政治』186、146-158頁、2017年

「国際水資源の利用における中国の多国間アプローチへの展開」『中国研究月報』70(10)、1-13頁、2016年

「中国の国際河川における紛争防止メカニズム要因の比較考察」『人間と環境』42(3)、2-17頁、2016年

「インドの国際河川における合意の履行比較ーインダス川，ガンジス川，マハカリ川，ブラマプトラ川ー」『水文・水資源学会誌』29(3)、176-185頁、2016年

「ブラマプトラ川の水資源をめぐる中国とインド：対立と協調の考察」『アジア研究』61(2)、55-68頁、2015年

「メコン川の水資源をめぐる中国と米国」『水文・水資源学会誌』27(2)、77-83頁、2014年